

# 2025年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
教育学研究科 教育学専攻(臨床)	臨床・発達・教育心理学

以下の設問に全て答えなさい。

## 〔設問1〕

問1 以下の問いに答えなさい。

- ① フロイト S. の精神分析理論における心の機能と構造の考え方について、下記の術語を用いて説明しなさい。

使用する術語：無意識、意識、前意識、自我、イド（エス）、超自我

- ② アクスライン B. が提唱した遊戯療法の8原則について説明しなさい。

問2 臨床心理士・公認心理師の業務では、関係者へのコンサルテーションや他の専門家との連携が求められる。コンサルテーションや多職種連携において留意すべきことについて説明しなさい。

## 〔設問2〕

- ① 言葉の獲得の過程を養育者との関係を含めて説明しなさい。
- ② 概ね40歳から60歳に相当する成人後期（中年期）の発達課題について説明しなさい。

## 〔設問3〕

- ① 学校における自殺予防教育について、その意義や取り組みについて説明しなさい。
- ② プログラム学習の原理や特徴について説明しなさい。

〔設問 1〕

出題意図：

大学院における心理学的支援の学修の前提となる臨床心理学ならびに心理学的支援に関する基礎的知識の習得度を評価する。

採点のポイント：

〔設問 1〕

問 1-1：フロイトの心の構造に関する理論を適切に理解し、提示された術語の意味とそれらの関係性を正しく説明していること。

問 1-2：非指示的療法の流れをくむアクスラインの考え方の主要なポイント（ラポールの形成、受容、主体性の尊重など）を押さえて正しく説明できていること。

問 2：臨床心理士・公認心理師の業務において欠かすことのできないコンサルテーションや連携において課題となる、情報共有と守秘義務の両立、インフォームド・コンセント、効果的な支援のための他職種間のコミュニケーションなどについて、適切に考えを論じられていること。

〔設問 2〕 1

出題意図：

発達心理学における乳幼児期の発達課題である言語の獲得過程について、養育者との関係の基本的な知識と理解を問う。

採点のポイント：

3 項関係、共同注視、愛着などのキーワードを適切に用いて説明できているかどうかを基準に採点を行った。

〔設問 2〕 2

出題意図：

発達心理学におけるエリクソンの発達段階のうち成人後期（中年期）について、基本的な知識と理解を問う。

採点のポイント：

獲得されるべきとされるポジティブな面と克服すべきとされるネガティブな面の双方がバランスよく説明されているか、また、ライフイベントの例をあげるなど具体的に説明できているかどうかを基準に採点した。

〔設問 3〕 1

出題意図

自殺に関する近年の動向を踏まえた問題の理解、学校における予防教育の意義やその具体的な取り組みについての理解を評価する。

採点のポイント

わが国の近年の若年者の自殺に関する動向、予防教育プログラムの実際などの生徒支援に関連した論述があれば加点する。

〔設問 3〕 2

出題意図

プログラム学習について、代表的な行動心理学の理論を踏まえた原理や特徴についての基本的な知識や理解を問う。

採点のポイント

基本的な 5 つの原理についての説明、オペラント条件付けなどの基本的な概念についての説明、教育的な意義などについての論述などがあれば加点する。